

ようやく第二号をお届けすることができました。ご多忙の中、玉稿をご投稿いただいた研究員の先生方に衷心より感謝申し上げます。今号には、研究論文十二編・研究ノート五編のご寄稿がありました。とくに、十二編の研究論文の数の多くの表題に「共生」ということばや、学祖椎尾辨匡師のご尊名が入っており、本研究所の機関誌としての趣旨を執筆者の先生方が深くご諒解いただいたことの表れと拝察いたします。さらにこれらの雄編が学内外に対して、多様な現代における「共生」のあり方を考えるための貴重な役割を果たすものと確信する次第であります。

また、本学理事長袖山榮眞先生の格別のご好意により、雑誌「共生」のバックナンバーをご恵贈いただきました。本誌は、椎尾辨匡師が「共生繪」の創設と同時に機関誌として発刊され、ほぼ毎号健筆を揮われたものであり、師のご活動と思索の後を追うことのできる貴重な資料といえます。今後、何らかの形で活かしていきたい所存であります。

さらに、前頁にもありますように本研究所所長神谷正義教授が、ご退職とともに所長の任もご退任されました。ご在任中に、大学創立二十周年を記念した「共生フォーラム」の開催、本誌の創刊、そして「ともいき市民講座」の開講等、先生のご尽力により実現した企画も多く、今後とも研究所の行く方を温かく見守っていただけることを願っております。